

ごあいさつ



日頃より、私ども岩手中央農業協同組合に格別のご愛顧を賜りまして、誠にありがとうございます。
ございます。

J Aいわて中央は、ご利用いただく皆さまに当 J A に対するご理解を一層深めていただくため、主な事業の内容や組織の概要、経営の内容などについて、わかりやすくまとめたディスクロージャー誌「DISCLOSURE 2022」を作成いたしました。皆さまが当 J A の事業を安心してご利用いただくための一助として、ご一読いただければ幸いに存じます。

現在の農業を取り巻く環境は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響による外食産業の需要の減少をはじめとした食料需給動向の変化がいまだ続いております。また、ロシアによるウクライナへの軍事侵攻の影響は食料供給のみならず、肥料をはじめとする生産資材価格の高騰という生産現場を直撃する事態となっており、我々 J A はグループの総合力を発揮し、これらの課題解決に取り組んでいかなければなりません。

このようななか、J Aいわて中央では令和3年4月に経営基盤再構築計画のもと、管内4か所に支所と営農センターを併設し、金融、共済、営農、生活の各事業を総合的に提案する「地域総合拠点」を設置して地域の農業振興や活性化に取り組んでまいりました。令和4年度からは J A の中期的な取り組み目標を定めた「第八次中期3カ年計画」の着実な実践と不断の自己改革を推進し、『食農立国』ブランドの普及拡大に取り組むとともに、持続可能な地域農業と豊かな暮らしの実現に向けて、組合員とともに役職員が一丸となり取り組んでまいります。

引き続き総合農協として J Aいわて中央の地位の確立に努めてまいりますので、今後とも皆さまのご支援、ご愛顧を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

令和4年6月

岩手中央農業協同組合
代表理事組合長 浅沼清一